

国
問

国
語

平成三十一年度

注
意

- (1) 「解答はじめ」というまで開いてはいけない。
- (2) 問題は一冊(本文九ページ、下書用紙は一枚)、解答用紙は三枚である。下書用紙は問題冊子の中にはさみこんであるので引き抜いて使ってよい。
- (3) 全部の解答用紙に受験番号を書くこと。受験番号は次の要領で明確に記入すること。
(例) 受験番号 50011 番の場合

5	0	0	0	1
---	---	---	---	---
- (4) 解答は解答用紙の所定の位置に書くこと。他の所に書いても無効である。字数などの指示がある場合は、その指示に従って書くこと。解答文はたて書きとする。
- (5) 解答用紙の余白は採点者が使用するので、誤字脱字の訂正のほかは使ってはいけない。
- (6) 書き損じても、かわりの用紙は交付しない。
- (7) 試験終了後、問題冊子と下書用紙は持ち帰ること。

問題一 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、
公開していません。

著作権保護の観点から、
公開していません。

問い一 傍線A・B・C・D・Eのカタカナで書かれた語句を漢字で書きなさい。

問い二 傍線ア「自分を人間であることから解放する」とはどういうことか。説明しなさい(三〇字以内)。

問い三 傍線イ「人間とは何か、人間的とは何か、という問いに、限定的な答をあたえることは不能です。私たちに可能なことは、限りなく問い続けることですし、それに答えることは、新しい問を準備するためしかありません。」とあるが、それはなぜか、答えなさい(三〇字以内)。

問い四 筆者は「人間、この非人間的なもの」という表現を通して何がいたかったのか、全体をふまえて答えなさい(五〇字以内)。

問題二 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

著作権保護の観点から、公開していません。

問い一 傍線ア「工夫」、傍線イ「当時」をわかりやすくいいかえなさい。

問い二 傍線一「二つ与へて二つ取る」とあるが、著者は具体的にどう説明しているのか、答えなさい(六〇字以内)。

問い三 筆者は「古僻先生等」を批判している。批判の二点を簡潔に述べなさい。

問題三 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

著作権保護の観点から、
公開していません。

著作権保護の観点から、
公開していません。

問い 右の文章を要約しなさい(二〇〇字以内)。

——山口裕之『大学改革』という病——学問の自由・財政基盤・競争主義から検証する『

著作権保護の観点から、公開していません。